

質問回答

平成 25 年 5 月 10 日

「(案件名) セネガル国ファティック州教員研修センター整備計画準備調査」

(公示日:平成 25 年 4 月 10 日/公示番号: 6)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1.	業務指示書本紙 5 頁 第 8 プロポーザルの 評価、 1、(2)、評価対象とす る業務従事者の予定 人月数	11.91M/M との記載がありますが、現地、国内別業務量 の予定(目安)はあるでしょうか。	業務指示書内において国内業務量に目安は明示しませ んが、成果品作成のために適切な人員配置をお願いしま す。具体的な現地、国内業務量につきましては契約交渉 の際に改めて確認させていただきます。
2.	業務指示書別紙第 2 7.成果品等 (2)インセプション・レポ ート、 (4)準備調査報告書(案)、 (7)準備調査報告書、 (9)入札図書作成参考資 料、 (10)機材仕様書	英文との指定ですが、現地公用語である仏語版の作成 は不要との理解でよろしいでしょうか。仮に、仏語版を作 成する場合は仏語訳費用(和文から仏語)の計上は認め られるでしょうか。	業務指示書別紙第 2 ‘7.成果品等’に挙げる成果品のう ち、以下のとおり、「 <u>英文</u> 」の成果品をすべて「 <u>仏文</u> 」へ変 更させていただきます。なおプロポーザル見積書の作成 にあたり、翻訳費用(和文⇄仏語)の積算は基本的に可 能ですが、仏語の十分な語学能力を有する業務従事者 が含まれ、和文⇄仏語への資料の翻訳が可能と判断で きる場合はその限りではありません。詳細は契約交渉時 に確認させていただきます。
3.	業務指示書別紙第 3 5. 現地再委託 のう ち、 イ. 入札図書作成参 考資料(案)の作成に ついて	再委託による成果品は現地公用語である仏語を想定し ていますが、上記 2. のとおり貴機構への成果品は英文と の指定があります。翻訳費(仏語から英語)の計上は可 能としてよろしいでしょうか	(1) 業務計画書: 和文 3 部 (2) インセプション・レポート: <u>仏文</u> 1 部 (3) 現地調査結果概要: 和文 1 部 (4) 準備調査報告書(案): <u>仏文</u> 1 部 : 和文 1 部 (5) 概略事業費(無償)積算内訳書: 和文 2 部

			<p>(※コスト縮減検討資料、事業費他ドナー比較資料含む)</p> <p>(6)概要資料:和文1部及びCD-R1枚 (※完成予想図を含む。)</p> <p>(7)準備調査報告書(※完成予想図を含む。) :和文(製本版) 8部及びCD-R1枚 :<u>仏文</u>(製本版) 15部及びCD-R2枚 :和文(簡易製本版)2部及びCD-R1枚</p> <p>(8)デジタル画像集:CD-R2枚(デジタル画像40枚程度)</p> <p>(9)入札図書作成参考資料:<u>仏文</u>1部、CD-R1枚</p> <p>(10)機材仕様書:<u>仏文</u>1部 :和文1部</p>
4	<p>業務指示書別紙第3 5. 現地再委託のうち、 イ. 入札図書作成参考資料(案)の作成について</p>	<p>p.11「同資料の作成については、本邦コンサルタントの管理のもと、現地再委託にて実施することを認める」とあります。他方、p.15「5.現地再委託」では、「なお、このうち、ア.自然条件調査(地形測量、地質調査)については別見積もりとする。」とあり、「イ・入札図書作成参考資料(案)の作成」にかかる見積もりについては言及がありません。</p> <p>本プロポーザルにおいて、「イ・入札図書作成参考資料(案)の作成」にかかる見積もりについて、別見積もりとするのでしょうか。</p>	<p>業務指示書本紙4頁の第7に記載のとおり、現地再委託費のうち「ア.自然条件調査(地形測量、地質調査)」経費のみ別見積りとし、現地再委託費のうち「イ.入札図書作成参考資料(案)の作成」経費は別見積りとせず、通常どおり見積り願います。</p>

以上